

# meiji 駿台倶楽部会報

明治大学野球部OB会ニュース

発行 駿台倶楽部  
 会長 荒井 信久  
 府中市若松町5-6-1  
 明治大学野球部合宿所内  
 電話番号(042)313-4134  
 F A X番号(042)364-5605

# 10戦全勝

## 快拳5季初の44回目V

新会長に荒井信久氏  
7面



**96年以來29年ぶり**  
 リーグ創設100周年秋に明大が96年以來29年ぶりとなる10戦全勝の偉業を達成した。25年秋季リーグ戦は9月13日に開幕。第2週から登場した明大は東大を連続完封で好スタートを切る。慶大も連勝し、第5週からの法大にも2連勝。「打倒ワセダ」に執念を燃やすチームは、「天敵伊藤樹」を打ち崩し優勝に王手をかけると2回戦も快勝して打倒ワセダを達成。5シーズンぶり44回目の優勝を決めた。立大戦にも連勝を伸ばし、連盟としても過去5回しかない10戦全勝を成し遂げた。

戸塚俊美監督は就任1年目、2シーズン目の優勝。ベストナインにはチーム史上2度目となる最多6人が選出され最優秀防御率賞には2年生の大室亮満(高松商)が初のタイトルを獲得した。なお明治神宮大会は初戦の立命館大にタイブレークの末に敗れ秋の日本一は成らなかった。

今季の新体制も決まり主将には福原聖矢捕手(東海大菅生)が就任、主務は昨秋に続き島坂康介(立一)が務める。また駿台倶楽部OB総会が1月12日に行われ、吉川芳登会長に代わり荒井信久新会長(71)を選任し、新体制で野球部を支援していく。

スタンドと一緒に喜びを分かち合った

**戸塚監督就任1年目の2シーズン目で**  
(1)

# 打撃陣も凄い!!チーム打率.325

## レギュラー7人が打率3割超え

### たまちゃんごとに加藤珠海



### 10戦全勝導いた「勝利の女神」

**4年生けん引**  
西武から早々に1位指名もバットの勢いは衰えることを表明された小島がどしどしとほなかつた。あるスカウトは「小島の打撃は天才」と4番に

チーム打率・325、レギュラー7人が3割を超え、明大打線が強力投手陣をバックアップした。捕手で4番の小島、一塁に転向した宮田、三塁に転向した木本主将の4年生3人が打線を支え、先輩に続けと3年生以下も躍動したリーグ戦だった。

「練習では投手に厳しく言っているけれど、試合になったら『打たれたら俺の責任だから』と言っていい」と、女房役らしい気遣いで投手陣をリードした。戸塚

的ですよ」と明かすように、初球から振れる強み。1球で仕留める練習を積み重ね、終わってみれば打率・432。攻守の中心選手として小島が守るだけではない。攻守の要・小島、つなぎ役・宮田、重圧乗り越えたチームの柱・木本

**秋に初のベンチ入り**  
最初戸惑いが加藤珠海マネ。最初は戸惑ったが、卒業した岸上さくら前主務に連絡しアドバイスを受けてリーグ戦に臨んだ。「ベンチ入りするタイミングとか分からないことばかりだった。岸上さんに助けていたかった」と試合中は笑顔でスコアブックにペンを走らせた。「たまちゃん」の明るさで10戦全勝に。まさに「勝利の女神」となった。

宗山の後を継いで主将を務めるプレッシャーはあったろう。春優勝決定戦に敗れ「私生活から見直そう。必ず私生活が野球に表れますから」と凡事徹底を心掛けた。主将の一打が早大のV4を阻止、そして明大に5季ぶり44回目の優勝をもたらした。

最終戦の立大2回戦で初安打を放ったのがフルペンを守ってきた中村凌だ。8回の好機に代打で打席に立つと初球を中



最終戦の立大2回戦でリーグ戦初安打を放った中村凌

# 最強投手陣が導いた

## チーム防御率0.70

## 総失点わずか9



10戦全勝を決め宙に舞う戸塚監督(左)と中継ぎエースととして優勝に貢献した菱川

### 菱川8試合で11回無失点「陰のMVP」

**四死球が激減**  
リーグ100周年でわずか5度(東大除く5校)しかない10戦全勝の偉業。明大が初めて96年以來2度目の10連勝を達成した。秋、春と早大に優勝決定戦で涙を飲んだ。秋は「打倒ワセダ!」「奪冠」を旗印にしたが、その一方で投手を預かる西嶋一記投手コーチが「またな四死球撲滅作戦」をバッテリーに厳命していた。

24年春は1試合平均4.4個、同秋は同3.15個、25年春は同3.5個。この四死球が失点に結びつくケースがデーターでも出ており「ストライク率の向上」を目標とした。夏の間も「投手には負荷をかけた後に投球させたり工夫した」と西嶋コーチは投手陣強化の裏話をしてくれた。

その成果は試合にすぐ現れた。10試合で四死球は22個、1試合2.2個と激減。総失点は一桁の9(自責点は7)でチーム防御率は0.70。10戦全勝チームでもできなかった記録で、00年からの統計でも一ケタ失点はなく、今後も達成できない偉業といってもいい。

その中で「陰のMVP」と指揮官が挙げたのが菱川。大川と勝利の方程式を形成。8試合、11イニングを投げ無失点、14Kと大きく貢献。夏のキャンプでOBの武田一浩氏から左手の使い方をアドバイスされ覚醒。ボールが低めに集まり安定感十分な投手になった。「野球は守りから(戸塚監督)をそのまま実現した秋の明大だった。

**10戦全勝×E** リーグ通算6回目。明大は96年秋に達成している。各校は慶大1128年秋、立大1158年春法大1157年春、早大1103年秋、川上憲伸がエース

①:96年秋の10戦全勝は荒井信久監督就任1年目。「春はね、スピードガン導入1年目でウチの投手は投げ終わるとバックスクリーンの球速表示ばかり気にしてたんだ」と振り返る。秋は打者に集中しエースの川上憲伸、小笠原孝の2本柱が安定。川上が4勝、小笠原が5勝をマーク。樫淵主将がチームをまとめ快挙を達成した。この時のチーム防御率は0.89、チーム打率は.287と投打ともに高い水準だった。

立命館大にタイブレークの末...

立命館大(関西5連覇第2)	00001010000527
明大(東京六大学)	01010000000527

※延長10回のタイブレーク

明大の新幹部（左から）副将の榊原、光弘、福原主将、島拔主務、岡田副将（左から）3番打者として3本塁打を放った榊原、攻守とも成長した光弘、秋からレギュラーとなり大暴れした岡田



# 福原が新主将

## 強固なセンターライン形成へ

### 岡田、光弘、榊原が副将就任

明大はセンターラインで強いチームを作っていく。今季の主将に福原捕手、副将には岡田二塁手、光弘遊撃手、榊原中堅手の4人が新幹部に就任した。捕手一塁一遊撃一中外野と新幹部のセンターラインが連覇への鍵となる。

## 福原新主将「たくさんの人に応援されるチームにしていきたい」

大分の12月3日、新幹部が発表され新主将に任命された福原は「伝統ある明大の主将になり、誇らしさと責任の大きさを覚えています。たくさんの人に応援されるチームにしていきたい」と抱負を口にしていた。捕手には小島がおり、出番は少なかつたが、昨春にはケガの小島に代わって捕手に座り投手陣をリード。早大・小宮山監督が「福原の捕手としての能力は相当高い」と言うほど、低めを意識させ二盗には「強肩

発動」してチームを救った。守りの要として戸塚監督が福原に寄せる期待は大きい。「福原をみんなが支えます」と言うバックスアップするのはベストナインを獲得した副将3人。榊原は3番を務め、秋は打率・390、3本塁打、10打点と充実の内容だった。「センターラインで幹部が固まったのでチームへの伝達もしやすいと思う。福原を中心に層の厚いチームを作りたいです」と熱い胸の内を明かした。

レギュラー二塁手をつかんだ岡田の活躍も見事だった。慶大2試合はケガで欠場したが、打率・389（5位）1本塁打、5打点と1番打者として成長した。早大1回戦では、天敵伊藤樹から先制打。2打席の内容が悪かったが、3打席の初球を適時打した。岡田の成長を感じた」と指揮官は喜んだ。12月の学生日本代表候補合宿では50分5秒9という「日本記録」を出す俊足。今季も1番で暴れ回るつもりだ。打率は・303と物足りないが遊撃として守備で成長した光弘も外せない。「岡田と最高の二遊間と言われるよう頑張ります」と力強い。後半戦は5番も任せられチームの顔に成長した。福原を中心に3本の矢が周りを固める新生明治。連覇に向けて最強を目指して船出した。

2年生ながら最優秀防衛率のタイタスを獲得した大室。左腕から140キロ中盤のスライダートにカーブ、スライダートを駆使。長身から角度あるボールは他校の打者苦しい。2年生だが、大室に任せられない。戸塚監督と後ろに菱川、大川らがいるため早めの降板となったが、本人は「今年はもっと長いイニングを投げたい」と目標を掲げている。

駿台倶楽部賞 夏の高森キヤンプを長年支援していただいた桜井常治氏（S34）、佐野竜一氏（S36）に決定。

大室最優秀防衛率 1年88の大型左腕・大室が最優秀防衛率を獲得した。夏のオープン戦から先発候補として経験を積んできた。戸塚監督も自信を持って送り出し期待通りの活躍を見せた。

リーグ100周年事業 役員選手の東西対抗試合が11月29日に神宮で行われた。明大からは東軍に大川投手、小島捕手らが出場。西軍には毛利投手、光弘内野手、榊原外野手らが出場した。12月7日には記念祝賀会が開催され、レジェンド・インタビューには宗山聖（栄大）が壇上で現役時代の思い出を話した。

出版 OOBの丸山清光氏執筆の「新装版」とかせい（定価2420円）とリーグ100周年記念の「東京六大学野球人国記2025年版」（定価2970円）が好評発売中。書店、Amazon等でお求め下さい。

# 東京六大学2025年秋季L Play Back

## 圧巻!! ベストナイン6人受賞

ベストナインを受賞した（前列左から）岡田、光弘、富田、（後列左から）小島、毛利、榊原



20日神宮明大1勝

東大	000	000	000	0
明大	101	011	02X	6
勝	1	1	1	0
敗	0	0	0	2
打	1	2	0	2
本	1	0	0	0
塁	1	0	0	0
打	1	0	0	0
者	1	0	0	0
率	0.400	0.333	0.250	0.167

21日神宮明大2勝

明大	210	100	402	10
東大	000	000	000	0
勝	2	1	1	0
敗	0	0	0	0
打	1	1	1	0
本	1	0	0	0
塁	1	0	0	0
打	1	0	0	0
者	1	0	0	0
率	0.400	0.333	0.250	0.167

12日神宮明大1勝

明大	030	000	201	6
法大	030	000	000	3
勝	1	1	1	0
敗	0	0	0	2
打	1	1	1	0
本	1	0	0	0
塁	1	0	0	0
打	1	0	0	0
者	1	0	0	0
率	0.400	0.333	0.250	0.167

13日神宮明大2勝

明大	001	010	000	2
明大	010	000	02X	3
勝	2	1	1	0
敗	0	0	0	2
打	1	1	1	0
本	1	0	0	0
塁	1	0	0	0
打	1	0	0	0
者	1	0	0	0
率	0.400	0.333	0.250	0.167

18日神宮明大1勝

明大	000	403	002	9
早大	000	002	000	2
勝	1	1	1	0
敗	0	0	0	2
打	1	1	1	0
本	1	0	0	0
塁	1	0	0	0
打	1	0	0	0
者	1	0	0	0
率	0.400	0.333	0.250	0.167

19日神宮明大2勝

早大	000	000	000	0
明大	000	010	00X	1
勝	2	1	1	0
敗	0	0	0	2
打	1	1	1	0
本	1	0	0	0
塁	1	0	0	0
打	1	0	0	0
者	1	0	0	0
率	0.400	0.333	0.250	0.167

27日神宮明大1勝

明大	001	000	120	4
慶大	000	010	000	1
勝	1	1	1	0
敗	0	0	0	2
打	1	1	1	0
本	1	0	0	0
塁	1	0	0	0
打	1	0	0	0
者	1	0	0	0
率	0.400	0.333	0.250	0.167

28日神宮明大2勝

慶大	000	000	000	0
明大	011	010	00X	3
勝	2	1	1	0
敗	0	0	0	2
打	1	1	1	0
本	1	0	0	0
塁	1	0	0	0
打	1	0	0	0
者	1	0	0	0
率	0.400	0.333	0.250	0.167

25日神宮明大1勝

立大	000	000	010	1
明大	000	003	00X	3
勝	1	1	1	0
敗	0	0	0	2
打	1	1	1	0
本	1	0	0	0
塁	1	0	0	0
打	1	0	0	0
者	1	0	0	0
率	0.400	0.333	0.250	0.167

27日神宮明大2勝

明大	312	150	012	15
立大	000	000	000	0
勝	2	1	1	0
敗	0	0	0	2
打	1	1	1	0
本	1	0	0	0
塁	1	0	0	0
打	1	0	0	0
者	1	0	0	0
率	0.400	0.333	0.250	0.167

## 第1はV逸…優勝決定戦で慶大に敗戦

11月3日からフレッシュユートナメントが行われ、明大は優勝決定戦でユ5連覇を許した。

東京六大学野球表彰選手とベストナイン

項目	選手名(所属)	票	回
投手	毛利海(明)	満	2
捕手	小島(明)	満	2
一塁手	大川(明)	満	2
二塁手	岡田(明)	満	2
三塁手	松本(法)	満	4
遊撃手	光弘(明)	満	7
外野手	榊原(明)	満	7
外野手	小島(明)	満	7
外野手	藤森(法)	満	7
外野手	榊原(明)	満	7
首位打者	藤森 康淳(法)	票	466
最優秀防衛率	大室 亮満(明)	防	0.44

東大戦で152キロをマークした三田村。慶大に逆転負けを喫した。予選リーグB組の明大は立大を7-1で下し白星スタート。しかし東大戦は再三の好機を生かせず1-1の引き分け。総失点数で決勝に進んだが、1点リードの9回に渡辺聡が捕まって慶大のフレッシュユ5連覇を許した。

全体的に好機で1本出ない拙攻が目立った。投手では東大戦で登板した三田村（1年）が152キロをマーク。まだまだ荒削りや変化球の精度など課題は多いが将来性を期待させ神宮大会でもベンチ入りを果たした。打者では、東大と慶大戦で本塁打を放った中野（2年）が今季からのDH候補としてアピールした。

東京六大学野球打者成績10傑(全日程終了)

選手名(所属)	打率	国	打	塁	塁	塁	塁
①藤森康(法)	.466	15	58	27	5	1	1
②小島(明)	.432	10	37	16	9	1	1
③石郷岡(早)	.405	12	37	15	8	1	1
④榊原(明)	.390	10	41	16	10	3	3
⑤岡田(明)	.389	8	36	14	5	1	1
⑥山形(立)	.377	13	53	20	8	3	3
⑦宮田(明)	.368	10	38	14	9	1	1
⑧井上(法)	.364	15	55	20	12	4	4
⑨落合(立)	.356	13	45	16	9	3	3
⑩前田健	.349	12	43	15	3	1	1

令和8年度スポーツ特別推薦合格者

(○印は甲子園出場、左右は投打)

<投手>○及川翔伍(二松学舎大付) 1年78、77キロ、右左。○長井孝誠(日本航空石川) 1年77、76キロ、右右。○堀田昂佑(広陵) 1年83、81キロ、右右。○渡辺颯人(智弁和歌山) 1年80、90キロ、右右。○行梅直哉(高松商) 1年83、91キロ、右右。○山岡純平(報徳学園) 1年77、72

東京六大学野球投手成績10傑(全日程終了)

選手名(所属)	防	回	試	勝	敗	責
①大室(明)	0.44	20⅔	5	1	0	1
②毛利(明)	1.13	32	5	4	0	4
③高橋(早)	1.86	29	5	3	1	6
④丸丸(立)	2.84	31⅓	9	2	1	10
⑤山形(法)	2.84	38	10	2	3	12
⑥野崎(法)	3.407	34⅓	10	4	2	13
⑦松本(東)	3.413	29	8	3	2	11
⑧伊藤(早)	3.60	50	8	3	2	20
⑨小島(立)	4.25	29⅔	6	2	2	14
⑩渡辺(慶)	4.75	41⅔	9	2	3	22

東京六大学野球秋季リーグ戦勝敗表(全日程終了)

順	大学名	明	大	早	大	法	大	立	大	慶	大	東	大	試	勝	敗	分	勝点	勝率
①	明大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10	10	0	0	5	1.000
②	早大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	7	5	0	3	.583
③	法大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15	7	7	1	3	.500
④	立大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13	6	7	0	2	.462
⑤	慶大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14	5	8	1	2	.385
⑥	東大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	2	10	0	0	.167

東京六大学野球秋季リーグ戦勝敗表(全日程終了)

順	大学名	明	大	早	大	法	大	立	大	慶	大	東	大	試	勝	敗	分	勝点	勝率
①	明大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10	10	0	0	5	1.000
②	早大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	7	5	0	3	.583
③	法大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15	7	7	1	3	.500
④	立大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13	6	7	0	2	.462
⑤	慶大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14	5	8	1	2	.385
⑥	東大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	2	10	0	0	.167

# 荒井信久氏が新会長就任

## 吉川芳登前会長は相談役に就任

令和7年度

東京六大学野球秋季リーグ戦優勝祝賀会

荒井 信久（あらい のぶひさ）54年3月19日、千葉県出身。成東から明大に入学。捕手として活躍し75年の4年時に春秋連覇、明治神宮大会制覇。神戸製鋼に進み77年に都市対抗優勝。その後監督も務める。92年のバルセロナ五輪では代表コーチを務め銅メダル獲得に貢献した。横浜、オリックスでスカウトも勤めた。現在、千葉黎明副理事長、野球部総監督。



優勝祝賀会で握手を交わす福原主将と荒井前会長

駿台倶楽部（OB会）の理事会、総会と野球部祝賀会が1月12日、駿河台の本校キャンパス内で開催。令和8年度の体制が承認され、新会長には荒井信久氏（71）が就任した。吉川芳登前会長は相談役に就任する。また年後には祝賀会が行われ10戦全勝、44度目の優勝を達成したナイフを400人がお祝した。

丸山副会長と「あうんの呼吸」  
荒井新体制で駿台倶楽部が

「できることを精いっぱいやっていきたい」

### 小島、大川、毛利も駆けつけ激励

400人が駆けつけ盛大に行われた祝賀会。10戦全勝の快挙に来賓者からは「おめでとう」の声がかかった。プロ入りした小島、大川、毛利も駆けつけ戸塚監督の激励に「開幕一軍！」を誓った。新会長に就任した荒井氏と福原新主将もガッチリ握手。同じ捕手とあって「お互い頑張ろう」とうなずいた。式の途中には土井淳、広沢克実、高田繁、武田一浩のレジェンドOBが並んでインタビューも行われ大いに盛り上がった。



戸塚監督から激励を受ける（左から）小島、毛利、大川。祝賀会には400人が駆けつけた

◇4年生の進路◇		※◎は野球継続	
位置	選手名（出身校）	進路	
投手	井上 仁（明大王子）	GA technologies	◎
	大川 慈英（常総学院）	日 本 八 城	◎
	郷原 怜大（東京都大付）	日 本 C 茨	◎
	高須 大雅（静岡）	日 本 マ 鹿	◎
	久野 悠斗（報徳学園）	日 本 生 命	◎
	菱川 一輝（花巻東）	日 本 製 鉄	◎
毛利 海大（福岡大濠）	日 本 鹿 嶋	◎	
捕手	小島 大河（東海大相模）	西 武	◎
	中村 凌輔（鎌倉学園）	西 武	◎
内野手	今井 英寿（松商学園）	日 本 通 運	◎
	衛藤 晃太（大分舞鶴）	日 本 公 道	◎
	岡本 藍土（西南学院）	日 本 京 ガ	◎
	木本 圭一（桐蔭学園）	日 本 東 サ	◎
	三浦 大智（明大八王子）	日 本 サ	◎
外野手	石田 健太朗（三島）	あいのりニッセイ	◎
	植田 颯斗（加藤学園）	日 本 非 ニ	◎
	瀨 千皓（船 理）	日 本 非 ニ	◎
	中園 遼太郎（船 理）	日 本 非 ニ	◎
	福岡 元翔（佼成学園）	日 本 非 ニ	◎
コ	遠藤 雄介（明大）	日 本 M&A	◎
	八幡 優介（明大中野）	日 本 M&A	◎
マ	本岡 里空（明大中野）	日 本 非 公	◎
	加藤 珠海（横浜津人）	日 本 非 公	◎

◇令和8・9年度駿台倶楽部役員（新任のみ）	
▽会長	荒井信久（S51）
▽副会長	丸山清光（S51）
▽落合紳哉	（S53）広澤克実（S60）
▽監事	川口啓太（S52）
▽常任副理事長	小原輝生（H1）
▽事務局長	寺士博昭（H8）
▽副事務局長	近藤裕樹（H10）
▽顧問	土井淳（S31）小林正三郎（S36）山東孝好（S46）
▽相談役	吉川芳登（S42）高田繁（S43）
▽常任理事	上野達也（S61）黒木研二（H3）
▽理事	古谷健一（S52）柿崎政治（S54）廣澤保雄（S56）
	山内康信（S62）國重義博（H2）
	三島正文（H9）榎渕聡（H9）川上憲伸（H10）
	高田繁（S43）
	顧問 土井淳（S31）小林正三郎（S36）山東孝好（S46）
	*S=昭和、H=平成

山本雄一郎野球部長退任  
令和3年から就任した山本雄一郎野球部長が退任する。側面からチームを支え、3連覇も達成。昨秋は「木本主将を胴上げしたい」とベンチに陣取り、見事10戦全勝。公約通り、木本主将の胴上げに参加しナインからも胴上げされた。後任には浅賀宏昭副部長が部長に就任する。

野球部長最後の年に優勝で胴上げされる山本部長



# 歴史的V支えた瀬&今井の存在



団結力高める儀式  
試合前にベンチ裏で長瀬剛「乾杯」大合唱  
秋の優勝は控えた4年生の活躍なくしては語れない。その象徴が瀬剛（天理）と今井英寿（松商学園）の2人だ。試合前のベンチ裏で長瀬剛の「乾杯」を大合唱。瀬の音頭で全員が思いを込めて大合唱。瀬の音頭で全員が思いを込めて大合唱。瀬の音頭で全員が思いを込めて大合唱。

瀬 初打席初本塁打以来1260日ぶり弾  
今井「やれること全部やった」新打法弾

高須&久野プロ志望届提出も指名なし…2年後必ず!!  
共に故障に悩まされ



手術から復活して2勝を挙げた久野

高須は3年春にエースとして活躍したが、同年秋に右ヒジを痛め、4年では肩の不調に悩まされ秋は登板することもできなかった。左腕の久野は2年春にトミー・ジョン手術を受け、4年秋に復活登板。2勝を挙げてチームに貢献したがストレイトが手術前に戻らず、完全復活を賭けて社会人の門を叩いた。2人とも「社会人で鍛え2年後に指名されるように頑張ります」と口を揃えた。

### 明大OB立大に快勝して2連勝

六大学OBで構成する「六球会」の野球大会が12月4日、神宮で行われ明大OBは立大OBと対戦。今年出場資格の60歳を迎えた関口勝己（小山=88年卒）が満を持して先発。鋭いスライダーを武器に被安打は内野安打2本のみ。「時間あるときは明治のグラウンドで打撃投手もしてますから」と全く危なげない投球だった。打線も大学時代、日本代表にも選ばれた堀添弘和（我孫子=81年卒）大森卓二（高松商=86年卒）、ベテラン竹内園（高田商=68年卒）らが安打を放って援護。守りも一

壘の石塚正信（日大一=83年卒）が強烈なライナーをジャンプして好捕、超美技でもり立てた。前回は4勝1敗で優勝。2年目に入った今回は2連勝と連覇に向けて好発進。10戦全勝の後輩に負けずに先輩たちも万全の勝利を重ねている。



優勝パレード 11月26日に駿河台キャンパスで。チア、マーチングバンドとともに30分かけ駿河台周辺を行進。その後、リパティールで祝勝会&報告会が行われた。立ち見も出るなど盛況で、挨拶に立った戸塚監督は「来年は必ず日本一になります」と宣言し、大きな拍手を浴びた。

◇関西支部（國重義博会長）報告  
①8月9日、夏の甲子園大会に出場した津田学園のOB佐川竜朗監督を激励②10月27日、ホテル阪神で社会人野球日本選手権に出場するOBの激励会を開催。善波達也、田中武宏両氏が監督経験者も出席した。  
◇学生日本代表候補に明大から5人が参加 12月5日から3日間松山で候補合宿が行われ明大から大室投手、岡田、光弘両内野手、榊原、田上両外野手が参加。代表入りにアピールした。

令和7年度も多くOBの方がお亡くなりになりました。謹んで皆様のご冥福をお祈りいたします。  
畑間正夫（S27）岩崎互利、橋本直樹（S30）岩岡保宏、小倉修（S31）小林将浩（S33）岩本英樹、沖田敦義、来栖規、辻敬司（S34）岩崎樹義、古海正敏（S35）松田満（S36）藤巻靖三（S37）岩岡正裕、岡崎正雄、高森啓介（S39）河上弘次（S40）宗岡連（H24）  
\*S=昭和、H=平成。敬称略

立大に快勝し記念写真に収まるOBたち

# 16年連続ドラフト指名で最長連続指名記録更新

## 毛利 海大 小島 大河 大川 慈英

## ロッテ2位 西武1位 日本ハム1位



ドラフト指名を受けた(左から)毛利、西武1位の小島、日本ハム1位の大川

明大からは3選手がパ・リーグに進むことになった。プロ野球のドラフト会議は10月23日に行われ、ドラフト前に1位を表明していた西武が単独で小島大河捕手を指名。日本ハムは1位を2度重複で外し大川慈英投手を指名。毛利海大投手はロッテから2位指名を受け新人王を目指す。これで16年連続の指名となり、最長連続指名記録を更新した。



### 「サプライズ」にウオオー！

駿河台にある本校キャパ23階。プロ志望届を出した5人がドラフト会議の画面を食い入るように見つめ、4年生のチームメイトたちが5人の顔を貼ったウチワを持って後ろに控える。打てる捕手として1位を表明していた西武が指名すると大きな拍手が起こり、重複なく小島も安堵の表情が浮かんだ。あとは大川と毛利。日本ハムが1位を抽選で2度外して迎えた3度目の指名。誰の名前が挙がるのか注目が集まる中、司会者が「大川慈英 投手 明治大学」と読み上げる。会場から一瞬の間を置いて「ウオオー！」という歓声と、大きな拍手が起こり名前を呼ばれた大川本人が固まるほどの衝撃。

### 全員パ・リーグで新人王のライバル

「自分が一番びっくりしました。1位で呼んでいただけとは思っていなかった」と大川は戸塚監督らと握手を交わした。指名があるのかないのかの不安。それがサプライズ的な1位指名。「2位では獲れない」という日本ハムの判断で1位に踏み切った。MAX155ポンドの本格派。まだ伸びしろ十分な右腕に大きな期待を寄せた。春6勝、秋4勝と年間10勝0敗、春は最優秀防御率賞を獲得したエース毛利はロッテの2位指名を受けた。4年になって大きく成長。学生日本代表にも選ばれた大舞台も経験した。「指名されてホッとしてました。目標は開幕一軍、そして新人王」と意欲を見せる。臨時投手コーチを務めたOBの大川一浩氏からは「今のままでは一軍では通用しないぞ。このオフ、しっかり体を作ってキャンプに臨みなさい」との厳しい金言も受けた。全員がパ・リーグ所属。今度は敵に分かれての対戦となるが、明大で培った「人間力」で今度は新人王のライバルとして全力を尽くす。

### え!? 瀬もドラフト候補生?

あれ、なんで瀬なの? と不思議に思った人も多かったはず。実はこの日、瀬は関西にある会社の内定式に出席していたのだ。チームメイトが「瀬も一緒にいるぞ」という意図で作ったウチワ。ここにも団結力の強さが表れていた。

### 楽天・宗山44年ぶり快挙!! 新人でベストナイン

楽天の宗山塁が遊撃手部門のベストナインを獲得した。5球団重複し楽天に入団。1度も二軍に落ちることなく122試合に出場、112安打をマークし打率.260と規定打席にも到達。残念ながら新人王は逃したが、新人ベストナイン遊撃手としては81年の西武・石毛宏典以来44年ぶりの快挙となった。「新人王を逃したのは仕方ない。2年目はすべての面でレベルアップしていきたいです。パ・リーグの移動の大変さも経験できたし、シーズンすべてがよい経験になりました」今季はチームの優勝はもちろん首位打者も狙ってチームの先頭に立つ。



新人でベストナインに選出された宗山